

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：グローバルキッズ南万騎が原園	種別：認可保育所
代表者氏名：塚本 志保	定員（利用人数）：60名（利用者59名）
所在地：〒241-0835 横浜市旭区柏町127KNOCKSみなまきみらい1階	
TEL：045-367-7771	
ホームページ：https://www.gkid.co.jp/facilities/nursery_107.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 グローバルキッズ	
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員： 11名
専門職員	（専門職の名称） 名 調理員 保育士 栄養士
施設・設備の概要	（居室数）遊戯室1、保育室6、事務室1、給食室1 （設備等）駐輪場10台分、屋上園庭、園庭、バギー庫、多目的トイレ

③理念・基本方針

経営理念	子ども達の未来のために
保育理念	豊かに「生きる力」を育てる
保育目標	元気に挨拶する子 自分も友達も大切にする子 好奇心・探求心を持って、何でもチャレンジする子
保育方針	保育者が率先して挨拶をし、子ども達の見本となる 愛情を体感できるように言葉や態度で気持ちを伝える 戸外遊びを通して自然物に沢山触れ、子どもの気づきや発見に共感する 食べ物に生きる力があることを伝えていく、ありがとうがいっぱいの保育

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>グローバルキッズ南万騎が原園は、相模鉄道いずみ野線南万騎が原駅から徒歩1分の、6階建てマンションの1階にあります。交通量の多い道路を通らず、駅前のプロムナードから園に直接に行くことができます。マンション専用駐輪場を10台分、送迎用バギー保管場所の用意があり、保護者が利用しやすい環境となっています。</p> <p>園内は、駅舎や電車のホームをイメージしたユニークな造りになっています。長い廊下は相模鉄道横浜駅から湘南台駅までと海老名駅までの駅名が順番に書いてあり、子ども達に人気です。近隣には、豊かな自然や多くの史跡などがあります。大小さまざまな公</p>

園があり、毎日の散歩や戸外活動に利用し、自然や季節を楽しんでいます。
 園は地域との関わりを大切にし、高齢者施設や学童保育、保育園・小学校、近隣の商業施設・店舗などと定期的な交流があります。
 職員全員が、保育目標を理解し、チームとして、一人ひとりの子どもの生きる力を育てるように、研修などで、質の向上を目指しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年6月10日（契約日）～ 令和3年2月4日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子ども一人ひとりを大切にされた保育
 指導計画は子どもの意見、意思、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるよう作成しています。子どもたちの様子や興味関心など職員はよく観察しています。各クラスの週案・日誌に特記事項欄を設けて、個別の子どもの課題と思われる言動のみならず、微笑ましい場面、頑張っている場面などを記載しています。
 配慮が必要な子どもには、年間指導計画、月間指導計画のほかに個別日誌をつけて手厚く見えています。すべての子どもにも、一人ひとりを大切にされた保育が行われています。

2)地域との交流・連携
 開園当初より、地域に根づく園、地域の中で子どもが育つ園を目指し、熱心に地道な努力を重ねてきました。近隣の保育園、小学校、学童保育所、高齢者施設、店舗、郵便局、鉄道会社などと、季節の行事や日常での交流を続けてきました。地域の親子向けに毎月、園舎（遊戯室）を開放し、遊びや活動を楽しんだり、身体測定を行っており、毎回参加する親子も増えています。
 地域の商業施設や会社が連携協働している「みなまき防災ミーティング」に参加し、地域の福祉、街づくりに寄与するとともに、保育園の情報を発信しています。

3)資質向上への取り組み
 職員の資質向上への具体的な取り組み内容を、園の中期計画・事業計画に盛りこんでいます。法人の階層別研修、分野別研修に加え、外部研修の受講や園内研修で、学びを深めています。法人専用のアプリケーションソフトを利用し、自主的に興味あるテーマについて学べる仕組みもあります。
 職員は個々の「自己チェックノート」に、年間目標を設定し、施設長との面談等を通し、保育の実践も含めた振り返りを行い、次期に繋げています。また、各指導計画の評価、振り返りから気づいた課題などは、職員会議で共有し、保育力向上を目指しています。今回の第三者評価受審の取り組みの話し合いでは、どの項目でも現状に満足せず、更に行える事があるとし、資質向上に意欲を示しています。

◇改善を求められる点

1)職員参画の事業計画策定
 園の事業計画および、中期計画に基づく単年度ごとの事業計画については、今回は主に施設長が策定しました。今後、職員間での話し合いや検討のもと、事業計画を策定することが期待されます。

2)保護者の相談の記録化

口頭、手紙、連絡用アプリケーションなどさまざまな方法で出された保護者からの相談は、相談内容によっては継続的なフォローが必要であるため、記録に残して対応していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園4年目にして、初めての第三者評価受審となりました。

全職員で園の運営や日々の保育について、様々な意見を出し話し合う中で改めて反省点や課題点に気付くことが出来ました。

企業理念でもある「子ども達の未来のために」職員がきちんと子ども達と向き合っているかを真剣に話し合ったことは大変有意義な経験であり、資質向上への取り組みを評価していただいたことは少なからず、日々の保育への自信と繋がりました。とは言え、現状に満足することなく今後も地域の社会インフラを目指すべく全職員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

最後になりましたが、第三者評価受審に際しご協力いただきました株式会社フィールズ様、お忙しい中アンケートにお答えいただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり